



北小の風



大津町立大津北小学校
学校だより 第13号
令和7年11月14日(金)
文責:校長 上田 玲子

○校訓:よく学び やさしい心と強い体 額に汗する北っ子

○学校教育目標 「夢に向かって挑戦し とともに高め合う児童の育成」

修学旅行に行ってきました ～6年生のまとめ特集～

6年生が10/29～30に、長崎修学旅行で平和学習を行いました。思い出づくりもできたようですが、特に平和学習で感性豊かに学び取った6年生の振り返りを一部ずつ紹介します。

【田代しほ】被爆者の方からの話を聴いて、絶対に核兵器のない、戦争のない平和な世界を作りたい、長崎を最後に核兵器の時代を終わらせたいという思いがすごく伝わってきました。今回学んだことを家族や学校のみならず身近な人に伝えて核兵器や、戦争の恐ろしさや、今どれだけ平和で幸せか伝えて行こうと思いました。



【木本はるひ】私は前から命の大切さをわかっているつもりだったけれど、この学習をして命の大切さは私が思っていたようなことではなくて、命を大切にすることとは人の命を決して軽く見ってはならないということだと気づくことができました。これからは、今私たちが平和で暮らしていることがどれだけ幸せなことかを伝えていきたいと思いました。



【只野かえで】修学旅行では色々なことが学べて充実した日だったと思います。護川の人たちとの交流会のときに、同じことが心に残ったという人がいて、話を聞いたら同じことでも考えている視点や物事が違ってそういう新しい考え方を知ることができて良かったと思います。これからは、修学旅行で原爆や戦争について知ったこと、分かったことを知らない人たちに伝えていかないといけないなと思いました。



【西村こうへい】原爆の恐ろしさや平和の大切さについて改めて、もっと詳しく知ることができました。このことを家族などの人に伝えて行きたいです。他にも世界にはまだ戦争があります。だから戦争の恐ろしさや平和の大切さについて真剣に思いをのせて訴えて行くことが大切です。だから訴えていきたいです。



【古庄はると】今でも戦争をしている国があるから、長崎の人たちのように水もなくて苦しんでいる人がたくさんいると思うから戦争を無くそうとしている人たちはすごいと思いました。これからは、いま当たり前のように暮らしているけどそれは当たり前ではないからお父さんやお母さんに感謝したいです。だから平和に生きているということは、ありがたいことだと思いました。



【田上みなと】僕は、千恵子さんのお話を聞いて、僕だったら諦めていたかもしれないけど千恵子さんは、諦めずにまた新しい第三の人生を歩み始めたのがすごいと思った。これから日本国憲法でもあるけど原爆も作らないし戦争もしない。



【嶋村さき】長崎に行き平和学習をして私は、原爆のことや被害、平和の大切さをもっと詳しく知ることができました。これからは、修学旅行で平和の大切さや原爆の恐ろしさなどの学んだことを下の学年に伝えて、それをさらに下に学年に伝えつなげていって、長崎に落とされた原爆のことについて、知らない人がいないようにしたいなと思いました。



【西村しゅん】僕が、学校での調べ学習と修学旅行で学んだことは、原爆が落とされたことは広島や長崎だけではなく自分たちこそ、その歴史から目を背けずに知っていくことが重要だということです。原爆資料館では、いろんなものが展示されていて、その一つ一つを見ると少し心が痛みましたが、こういうものがあることで、原爆の恐ろしさを伝えることになると思います。館内には外国人の方もいてそういう人たちが、少しでも原爆について知ろうとしてくれていて良かったなと思います。最近、テレビのニュースを見ていると、アメリカが核実験を表明したり、北朝鮮が国連総会で、「核放棄は決してしない。」と発表していたりと不安定な世界情勢ですが、僕たちはできるだけ多くの人に核の恐ろしさや、平和の大切さを伝えていければいいなと思います。

